

研究課題名	多面的抗菌薬適正使用支援が外来経口抗菌薬使用動向に与えた影響
実施責任者	所属・職名：薬剤部・薬剤師
	氏名：吉田 健人
研究の概要	薬剤耐性（AMR）は世界的な公衆衛生上の課題であり、日本では 2016 年に AMR アクションプランが策定され、抗菌薬適正使用の推進が求められています。一方で、外来診療における経口抗菌薬の使用割合は依然として高く、AMR 対策における重要な課題の一つとされています。当院の抗菌薬適正使用支援活動が外来経口抗菌薬使用動向に与えた影響を調査させていただきます。
対象となる個人情報	年齢、性別、受診日、処方された抗菌薬の種類、日数、抗菌薬処方の目的、微生物学的検査、処方した診療科等を個人が特定できない形で収集させていただきます。
実施の期間	西暦 2016 年 4 月 1 日より 西暦 2026 年 3 月 31 日まで
研究対象	2016 年度から 2025 年度に当院外来にて経口抗菌薬を処方された患者様が対象とさせていただきます。